

歴代学長



坂田 祐
(1950.4.1～1954.3.31)



白山 源三郎
(1954.4.1～1957.7.14)



相川 高秋
(1957.7.15～1968.9.6)
女子専門学校長(1946.4.1～1951.3.31)
短期大学部長(1950.4.1～1953.9.2)
(1954.9.1～1957.7.14)



林 淳三
(1968.10.5～1974.8.31)
(1978.9.1～1988.8.31)



下田 哲
(1974.9.1～1978.8.31)
(1988.9.1～1992.8.31)



小玉 敏子
(1992.9.1～1996.8.31)



吉田 博
(1996.9.1～2004.3.31)

坂田 祐 先生

学校教育法の改正で1950年に短期大学制度が発足、女子専門学校が短期大学部に転換された(英文科、家政科・経済科・工科)ときの初代学長(当時大学の学長でもあり学院長も兼務)

1953(S28)年～短期大学部長相川高秋渡英のため学長兼短期大学部長

白山源三郎 先生

1954(S29)年4月学長就任、1957(S32)年短期大学に名称変更されたときの学長

相川 高秋 先生

短大の前身である関東学院女子専門学校設立時の校長、短期大学部長。短期大学部から関東学院短期大学に名称変更後まもなく学長就任。1967(S42)年男女共学の英文科第二部が廃止され「女子短期大学」と再度名称変更された時も引き続き女子短期大学長であった。

林 淳三 先生

女子短期大学となり、公選制で初めて選出された学長。(通算16年)教養中心であった短大に職業教育を導入、六浦校地から室の木校地への移転、社会学科を設置し総合短大とし、建学のシンボルとなるチャペルも完成させた。

下田 哲 先生 (通算8年)

ノンクリスチャンであった林学長の後を受け、キリスト者として『内』の充実に尽くした学長。卒業生にとってはキリスト教概論と礼拝が印象深い。

小玉 敏子 先生 (4年)

1967(S42)年4月女子短期大学へ名称変更時に短大主事となり林学長就任まで重責を担ったこともあり、ながく貢献し学長就任。

吉田 博 先生 (9年)

女子短期大学の学長として最後の卒業生を見送り、人間環境学部への改組とともに学部長就任。

<参考記事>

旧香葉No21-P3 小玉先生学長就任にあたって

旧香葉No5-P1 No18-P2～4 下田先生学長就任にあたって

旧香葉No31-P4～6・香葉No1-P3 吉田先生学長挨拶